

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Brighten School of supecial Education		2025年 3月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			法令を尊守したスペースとなっております。お子様が集中して机上の活動に取り組めるようにする為に部屋を仕切っており、お子様の特性や活動により使用する部屋を変えたり、グループに分けて行う等工夫しております。	運動スペースが少し狭いとのこと指摘もありましたが、個別の部屋等を作る関係で、室内ではこれ以上広げることが出来ない為、十分に体を動かすことが必要な場合は戸外活動も取り入れていきたいと思っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			法令で必要とされる配置数は確保しており、更に手厚くお子様達の療育ができるように法令より多い人数で療育にあたっております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			トイレのところに段差がある環境です。その為、ゲートをつけ、指導員が見守りをしております。療育室に関してはそれぞれの部屋が分かり移動ができるように部屋に名前をつけ、マーク等で分かりやすくしております。	トイレの場所が暗いこと、荷物が置いてあることのご指摘がありましたので、電球の明るさを変える、物の置き場所を検討する等行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			朝、夕の掃除、消毒、換気をしております。療育室の両側の窓は開かない構造となっておりますが、天井に換気システムが設置されております。お子様達が集中して活動に取り組めるように部屋を仕切って使用しております。活動に合わせて使用する部屋を選んでいきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			部屋を仕切って使用している為、個別対応が必要になった場合に個別の部屋を使用することが可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			日々の振り返りやミーティング等で話し合いが出来ております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			1年に1度の評価を実施しております。保護者様からの評価を本社や職員間で共有し、改善するべきところは改善できるように努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			月に1回（必要時は2回）、ミーティングを実施し、業務改善についての話し合いを行っております。また日々の振り返りでも、改善が必要な部分は話し合いを行い、改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者評価はまだ行っておりません。今後、第三者評価の実施も検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			社内研修の機会を定期的に設けております。社外研修にも積極的に参加しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				支援プログラムに関しましては2025年3月中に公開予定です。HP上で公開を致しますので今しばらくお待ちください。公開致しましたら保護者様へもお知らせいたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			アセスメントや保護者様からのニーズの聞き取りをもとに、課題を分析し、支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			お子様の支援に関わる職員もモニタリング（支援計画に対する評価）やカンファレンスに参入し、検討をしております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			個別支援計画の内容を全職員に周知しております。また朝の申し送り時にもお子様一人ひとりの支援についての確認を行い、支援にあたっております。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			フォーマルなアセスメントとしましては、標準化されたアセスメントツールを使用しております。また行動観察により気づきがあったことは、日々の振り返りの中で共有しております。	職員一人ひとりのアセスメント力（お子様の特性や発達段階、必要な支援、お子様にあった支援等を見極める力）を更に向上させていきたいと考えております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			東京都のガイドラインで示されている支援（５領域）を全て網羅する支援計画を作成しております。本人支援の他に家庭支援として、保護者様からの相談対応をさせて頂いたり、ご希望のあるご利用者様の保育園や幼稚園にも訪問させて頂き、連携を図っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			プログラムは日本人職員、外国人職員、皆でアイデアを出し合い、日本のみにとどまらず、海外の視点も盛り込み、プログラムを検討しております。一人一人のお子様の顔を思い浮かべながら、興味を引き出せるようなプログラムを立案し実行しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			お子様の特性、発達段階、興味関心を常に観察しながらプログラムへと反映し、そこへ日本、海外を含めた季節的な要素も取り入れながら作成しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			基本的には集団療育を提供していますが、個別の療育が必要なお子様には随時、部分的に個別活動を提供しております。またグループ分けをし、療育を行うこともあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			支援前に必ず打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。			支援後には必ず振り返りを行い、Project内容はどうだったかや支援方法、お子様の様子について等の話し合いを行い、次の支援に活かすことができるようにしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			保護者様に向けた記録の他にも、支援計画に応じた記録をとっており、それをもとに支援の検証、改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			6ヶ月以内で定期的に行っております。達成目標や支援内容について、保護者様や指導員と確認し、見直しを行っております。	
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			児童発達支援管理責任者が中心となり、参加させて頂いております。児童発達支援管理責任者と共に指導員が参加する場合もございます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			常に連携を取れる体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			保護者様や保育園、幼稚園から依頼があった場合や了承が得られた場合、連携を図り、情報共有や相互理解に努めております。また保育所等訪問支援をご利用されている方に関しましては、関係機関とサービス担当者会議を開催しております。	関係機関との連携については全てのご家庭へ、その支援を行うことができていない為、今後、力を入れていきたいと思っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			就学支援シートを作成し、小学校等に情報をお伝えしております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			相談したい案件がある際に、ご連絡させて頂き、助言等を頂いております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			現在はまだ指導員と遊ぶことが目標になっているお子様や同じSchoolのお友だちと時間をかけて仲良くなり、一緒に遊ぶという事が目標にあがっているお子様が多く、外部の慣れないお友だちと遊ぶ段階に至っていない為、交流の機会を設けておりません。	系列にインターナショナルスクールがある為、他の子どもとの関わりが必要なお子様に対して、交流を図ることを検討していきたいと考えておりますが、人員等の関係で、実施可能かを熟考したいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			連絡ノートやメール、お迎え時、面談などで情報共有を行っております。	お迎え時のフィードバックの時間が限られている為、十分な対応ができていない部分もあります。限られた時間の中でもしっかり情報共有ができるように努めていきたいと考えております。また保護者様の方から話したいことがある際に、その時に時間がない場合は改めて面談やお電話等でお話をさせて頂くなど時間を作ることができますので、遠慮せずにお申し出頂けたらと思います。
保 護 者	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			ご相談のあった際にはご家庭での関わり方等の助言を行っております。	全ての保護者様の気持ちに寄り添い、なかなか言い出せない保護者様の気持ちにも気付いていくことが不十分であると思っております。こちらからも積極的にお声がけし、相談しやすい環境を作っていきたいと考えております。また現在はペアレントトレーニングを実施するまでには至っていない為、今後はペアレントトレーニングの実施も行っていきたいと考えております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			契約時にご説明させて頂いておりますが、契約書等の量が多い為、全文を読み上げず、内容をまとめてご説明させて頂いております。運営規定に関しましては、玄関の閲覧ファイルにていつでも確認して頂けるようにしております。	支援プログラムにつきましては2025年3月中に公開予定です。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			支援計画作成時は保護者様からのニーズの聞き取りやお子様のアセスメントをもとに課題を分析し、支援計画を作成しています。支援に関するご要望は計画作成時以外でもお伺いしますので、いつでもお申し出ください。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			支援計画の内容を説明し、同意を頂いておりますが、保護者様とお会いする機会を設けることができない場合はお電話やメールにてご説明させて頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			面談は支援計画作成の時期に合わせて定期的に実施しております。ご家庭の困り事等も一緒に考えたり、アドバイスさせて頂きたいと思っており、ご相談があった際には面談の時間を設け、ご対応させて頂いております。	全ての保護者様に対してご相談対応が出来ていないと感じております。ご相談等に関しまして、いつでもお話を伺いしますので、お申し出頂けたらと思います。こちらからも積極的にお声がけし、相談しやすい環境を作っていきたいと考えております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			以前は1年に1度の頻度で保護者会を実施していましたが、保護者様のご希望により、1年に2回と回数を増やして実施しております。お子様の就学を控えた保護者様に対しては就学準備の会も開催し、アドバイスをさせて頂いたり、不安なことを話し合うなどをしております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			ご相談の申し出があった際には迅速に対応し、面談等をさせて頂いております。	

への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			Brightenでは限定公開のInstagramにて写真を公開したり、フィードバック時に写真や動画をお見せしながら活動の内容をお伝えしています。令和5年3月より月の活動をカレンダーにし、お渡ししております。連絡体制としましては、メールやお便りにて行事予定等のお知らせをしております。自己評価に関しましてはHPと事業所の閲覧ファイルにて公開しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			個人情報に関しましては、書類を持ち出さない、ご利用者様の話を事業所外でしないなどの配慮をしております。	一度、メールの誤送信（保護者様と使用している連絡アプリで、間違えてメールをお送りしてしまいました。保護者様に謝罪をし、職員間で再発防止に向け、話し合いを行いました。メールを送信する際にお名前の確認を徹底する事、メールにはフルネームを載せないようにすることを徹底致しました。今後も個人情報の取り扱いには十分に注意して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			保護者様との意思の疎通や情報伝達に関しましては面談室にて対応させて頂いたり、連絡アプリを使用し、やり取りが残るかたちで対応させて頂いております。お子様に関しましては、お子様の特性や発達段階に合わせ、お子様が理解できる伝え方ができるように配慮しております。お子様の思い（言葉だけではなく、ボディアクション等）も丁寧に受け止めるように心がけております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			現在は地域住民を招待するまでには至っておりませんが、地域の商店にてお買い物体験やハロウィン時にお菓子をもらいに行く等で地域との関わりを持っております。今後も地域と関わることでできる療育内容を考えていきたいと思っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			各マニュアルを策定し、訓練を実施しております。緊急時等のマニュアルや訓練の実施につきましては契約時にご説明しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			BCPを策定し、定期的に訓練も実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			契約時に確認をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食物アレルギーのあるお子様については、契約時に確認し、食事中の見守りを徹底するなど対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			安全計画を策定し、お子様を安全にお預かりする、安全な環境を整える、お子様へ安全指導を実施する等を行っております。環境面では定期的に施設、備品等のチェックも行い、安全な環境で支援が行えているかを確認しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				安全計画の取り組み内容について、ご家族様への周知が不十分であったと思っております。今後は玄関への掲示や連絡アプリ等でお知らせしていきたいと考えております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			該当する事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で再発防止に向けての対応を検討しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			虐待防止委員会を設置しており、マニュアルにて、職員に周知をしております。職員に向けた虐待防止研修も実施しております。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			身体拘束を行う際の状況や方法について契約時に説明を行い、同意を頂いております。現在までそのような場面はありません。	
--	----	--	--	--	---	--